

事業所名

ツムグラボ(放課後等デイサービス)

支援プログラム

作成日

令和

7年

1月

1日

法人(事業所)理念		①「主体性」—自ら考え、選び、行動する力を育む ②「体験重視」—五感で学び、心を動かす ③「小さな成功体験」—自信を積み重ねる								
支援方針		上記の理念をもとに、一人ひとりに合わせた支援を提供します。また、アート融合型療育を通して、自己表現力・自己肯定感の向上に貢献します。								
営業時間		10時	00分	から	18時	30分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	別紙								
	運動・感覚	別紙								
	認知・行動	別紙								
	言語 コミュニケーション	別紙								
	人間関係 社会性	別紙								
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> 定期的な保護者懇談で事業所や家庭の様子を情報交換することで、互いに見えない部分の情報を補い、子どもへの理解を深める。 保護者との対話を大切にし、信頼できる関係構築に努めます。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じて学校を訪問し、情報の共有や具体的な関わり方のモデルを示します。 学校での引き渡し時では本日の学校での様子やがんばったことなどを聞き、支援に生かしていきます。 			
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> 教育機関や医療機関と連携し、インクルージョン(包容)を推進します 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> 経験や職種に応じた研修の参加を促しスキルアップの機会をつくっていきます 			
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> 地域社会の一員として活動に参加できるよう、地域のイベントや活動の機会を提供します 								

①健康・生活		
具体的な達成目標	支援内容	支援プログラム
来所後の手洗い・うがい・検温を自ら行い、自身の健康状態を確認する習慣が身につく。	利用者と一緒に健康状態をチェックすることで健康な心と体を育てるとともに、健康で安全な生活のリズムが身につくように支援していきます。また、自分の健康に関心をもち、病気の予防などに必要な活動を行います。	・手洗い・うがい講座の実施 ・定期的な心身の把握（体温測定）
		・定期的な心身の把握（気分把握）
身体的・精神的・社会的スキルを向上させるご活動を通して、自立した生活を営む能力を習得する。	生活の仕方を知り、自分たちで生活の場を整えながら見通しをもって行動できるように支援します。お友達と食事することを楽しみ、食べ物への興味や関心をもてるような活動や食育講師の方とのイベントを行います。また、危険な場所、危険な遊び方、災害時などの行動の仕方が分かり、安全に気を付けて行動できるような活動をします。	・生活リズムの安定（定期的かつ定時に通所）
		・ソーシャルスキルトレーニング 総合支援
		・クッキングの実施・食育イベントの実施（ツムグ食育講師：堀江氏）
		・外出レクリエーション
健全な発達と日常生活における自立に必要なスキルが身につく。	身の回りを清潔にし、衣服の着脱、食事、排泄などの生活に必要な活動を自分で行い、基本的な生活のリズムを身に付けられるように、一人ひとりに合わせた支援を行います。	・地震・火災・水害など避難訓練
		・着替えや身の回りの整理訓練
		・トイレトレーニング
		・手洗い・うがい・歯磨き
物の購入方法など実際の経験と知識を有し、将来自立した意志決定ができる能力を取得する。	物を購入する流れを通して選択や購入方法についての経験と学びの機会を提供します。また、時代の流れに合わせて、無人レジやネット販売にも対応できるように段階を追って練習します。	・ライフスキルトレーニング 総合支援
		・食事自立訓練
自己管理や生活環境の維持、社会的規範などを理解し実践できる力を身につける。	掃除の習慣化や技術の向上を図ると同時に、マナーを学ぶ機会を提供します。	・買い物（模擬店→実店→ネット販売）
		・掃除・整理整頓 ・ソーシャルスキルトレーニング（マナー）

②運動・感覚

具体的な達成目標	支援内容	支援プログラム
<p>身体的機能を最大化し、全体的な発達と生活の質を向上する。</p>	<p>日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、筋力の維持・強化を図ります。 また、視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分に活用できるよう、遊び等を通して支援していきます。</p>	・感覚遊び
		・外運動を実施
		・トランポリンの姿勢保持
		・バランスボールの姿勢保持
		・ストレッチの実施
		・自立課題
		・ラジオ体操やダンス
<p>自己表現力が向上する。</p>	<p>感じたこと、考えたことなどを自由にかいたり、つくったりなどする活動や、様々な音、形、色、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむ活動を通して、表現力や協調性を育む支援をしていきます。また、生活の中で美しいものや心を動かす出来事に触れ、イメージを豊かにする機会を設けます。</p>	<p>・ツムグのアート融合療育（別紙）</p>
<p>心身のバランスを整え、心理的・生理的な全体的な安定性を促進することとする</p>	<p>音や温度・室内環境に配慮することで緊張状態を緩め感情コントロールや集中力を高め心身のバランスを整える支援をしていきます。</p>	・ヒーリング アプローチ
		・環境整備

③認知・行動		
具体的な達成目標	支援内容	支援プログラム
変化に対する認識力を高め、適応力および問題解決能力を習得する。	日々の変化を確認する環境提供をして情報の取得、行動につなげるという一連の認知過程の発達を支援していきます。	・ 天気、気温、日付の把握と確認による感覚・数の認知形成
		・ 1日の時間帯別活動を示すタイムテーブルの確認による時間の認知形成
		・ 自立移動訓練
認識したものの特性を精緻に識別し、概念的 理解を深めるとともに、認知的処理能力の向上・ 複雑な知覚的課題への適応力が高まる。	物の個数や形、重さや色、機能や属性の認知形成ができるように支援していきます。	・ 粘土、スライムによる物質の変化と感覚の認知形成
		・ ブロック遊びによる空間把握の認知形成
		・ 組み立て教具による空間把握の認知形成
		・ ビジョントレーニング
		・ 工作による認知形成
学力や生活全般の質、自己効力感の向上を図る	認知機能の5つの要素（記憶、言語理解、注意、知覚、推論・判断）に対応するトレーニングを行い、身体面・学習面・社会面の3つの観点からアプローチする。	・ SST（ソーシャルスキルトレーニング）
自身の認知的特徴を理解し、様々な事象への 認知・行動の適応力が向上する。	認知の偏り等の個々の特性に配慮しながら感覚形成ができるように支援していきます。	・ 感覚、認知の偏りに対するリフレーミング
		・ 小集団でのゲームでの適切な行動形成、認知の偏りの配慮
		・ 季節の変化への興味などの感性形成のための外出・行動

④言語・コミュニケーション		
具体的な達成目標	支援内容	支援プログラム
自発的な表出やコミュニケーションスキルが向上する。	したり、見たり、聞いたり、感じたり、考えたりなどしたことを自分なりに言葉で表現できるように関わります。また、したいこと、してほしいことを言葉で表現したり、分からないことを尋ねたりできるような環境を整備します。始まりの会や終わりの会等で具体的な事物や体験と言葉の意味を結びつけることにより、体系的な言語の習得、自発的な発声を促す支援につなげます。	・はじまりの会で今日の気分・気持ちをプレゼンテーションでの感情表現 言語表出
		・終わりの会で活動振り返りと気持ちをプレゼンテーションでの感情表現 言語表出
		・個別または小集団での本人の性格や特性に応じた読み書き
多様なコミュニケーション方法を獲得することにより、相互理解と表現力が身につく。	<p>いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにしたり、生活の中で言葉の楽しさや美しさに気付いたりできる活動を設けます。</p> <p>また、地域の方や外部の方と連携し、本や物語などに親しみ、興味をもって聞き、想像をする楽しさを味わったり、文字などで伝える楽しさを味わう機会を提供します。必要に応じて、文字・記号、絵カード、機器等のコミュニケーション手段を活用し、コミュニケーション能力の向上のための支援をしていきます。</p>	・言葉に関する活動
		・読み聞かせイベントの開催 (地域の方や外部の方をお招きする)
		・ルールなどを絵や絵カードを使った視覚支援
		・視覚的に「どこで何をするか」を絵などを使い具体的に表示
		・絵カードを使った言語訓練 (読み書き)

⑤人間関係・社会性

具体的な達成目標	支援内容	支援プログラム
<p>社会的相互作用の向上・協力や役割分担・規範などの社会的スキルの体系的育成を提供することで、社会的自立の基盤を養うことができる。</p>	<p>他者と共に過ごすことの喜びを味わうことで、友達と積極的に関わりながら喜びや悲しみを共に共感し合い、関わりを深め、思いやりをもつことができるような活動を行います。また、友達と楽しく活動する中で、共通の目的を見だし、工夫したり、協力したりなどできるように支援します。高齢者をはじめ地域の人々などの自分の生活に関係の深いいろいろな人に親しみをもつことができるようなイベントを開催します。周囲の人と安定した関係を形成するための支援や無関心である一人遊びの状態から並行遊び、大人が介入して行う連合的な遊び、役割分担したりルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、徐々に社会性の発達を支援していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他社と協力する活動 ・安心基地 ・アタッチメント形成（感情に寄り添う・自尊心を高める・認める） ・見立て遊び、つもり遊び、ごっこ遊びの組み合わせ ・一人遊び、並行遊び、連合的な遊びの組み合わせ ・役割分担のある遊びなどでの環境把握 ・ルールの理解が必要な遊びや集団活動 ・イベントなどを通じた地域との交流 ・外出レクリエーション
<p>本人の自己認識を深め、情動調整力を強化し、心理的な適応力が向上する。</p>	<p>学習や遊びを通して自分のできること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習支援 ・P C ・ タブレット ・ ゲーム機器等使用による対人関係構築訓練